

北海道浮魚ニュース

令和3(2021)年度18号

2021年10月29日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎第2回太平洋スルメイカ中短期漁況予報発表される

10月29日、漁業情報サービスセンターより、第2回太平洋スルメイカ中短期漁況予報が発表されたので概要をお知らせします。今回は太平洋海域及び根室海峡・オホーツク海海域を対象とした2021年11月の予報です。

なお、この予報は国及び太平洋側道県の水産研究機関が参画し、漁業情報サービスセンターがとりまとめを行いました。予報文の全文は以下のサイトでご覧になれます。

一般社団法人漁業情報サービスセンター 漁海況部

(<https://www.jafic.or.jp/information/category/news/>)

今後の見通し (2021年11月)

対象魚種：スルメイカ

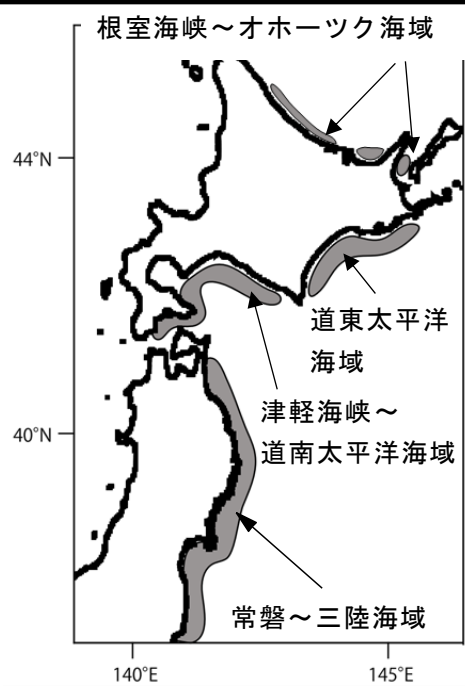
対象海域：太平洋（常磐～三陸海域、津軽海峡～道南太平洋海域、道東太平洋海域）

対象漁業：いか釣り、底びき網、定置網、まき網

対象魚群：冬季発生系群（2021年級群）

- ・道東太平洋（いか釣り、底びき網）：来遊量は前年を下回る。漁場形成は散発的となり、11月で終了する。
- ・根室海峡～オホーツク海域（いか釣り、定置網、底びき網）：来遊量は前年並。明瞭な漁期がないまま終漁する。
- ・津軽海峡～道南太平洋海域（いか釣り、定置網）：来遊量は前年を下回る。対象期間を通じて漁場となる。
- ・常磐～三陸海域（いか釣り、底びき網、定置網、まき網）：来遊量は前年を下回る。対象期間を通じて漁場となる。

※文中の「前年」は2020年のことです。



・漁況は、2021年9月30日に発表された第1回太平洋スルメイカ長期漁況予報（浮魚ニュース第17号参照）、及び、その後の各地の漁況経過、調査結果等から予測されました。

・道東太平洋海域及び道南太平洋海域については、釧路水産試験場によるイカ類南下期資源調査（浮魚ニュース第13号参照）での平均分布密度が前年を下回り、10月中旬までの主要港での小型いか釣り船の漁獲量及びCPUE（1日1隻あたり漁獲量）もほとんどの港で前年を下回ったことから、11月の来遊量は前年を下回ると予想されました。

・根室海峡～オホーツク海域については、10月上～中旬の小型いか釣り船の漁獲量が前年を上回り、CPUEも前年並でした。水温も太平洋からオホーツク海への回遊が起きやすい状態にあると考えられますが、道東太平洋海域のスルメイカ分布密度は低いと考えられるため、来遊量は前年並と予想されました。

（釧路水産試験場調査研究部 TEL：0154-23-6222、FAX：0154-23-6225）